

兵高教組

13確定速報1号

2013年10月30日 調査情報29号

兵庫県高等学校教職員組合調査部

TEL : 078-341-6745  
 FAX : 078-351-3185  
 URL : http://www.hyogo-kokyoso.com  
 mail : honbu@hyogo-kokyoso.com

## 県民・県職員に痛み押しつけ続けて6年 「行革」カットは即時中止を！！



第1回賃金確定交渉 (10月29日)

高教組・高従組・兵庫教組の合同交渉団は、10月29日、県教委との第1回賃金確定交渉を行いました。松田教育次長は、県人事委員会報告と本県の「厳しい」財政状況の説明に終始しました。岸本兵庫教組委員長から、今回の確定の最大の課題は、6年間続いている「行革」カットを即時中止することであると強く迫りました。さらに全教が作成した『勤務実態調査2012』の報告書を教育次長に示して、超過勤務の縮減に向けた実効ある措置を要求しました。この確定交渉では、「行革」カットを終了させるような納得できる回答を示せるよう最大限の努力を求めました。

### 失政に無反省のまま「行革」押しつけ 転換せよ！

組合からの追及

中村書記長からは、統一要求書に基づいて次の点を追及しました。県行革カットを終了し、人勤制度を尊重した賃金決定ルールを守れ。国に強要された賃金カットを確実に終了せよ。現給保障を維持、55歳昇給停止をするな。青年教職員の賃金を2万円以上改善せよ。定数内臨時教職員の正規化と待遇の抜本改善を。超勤の実効ある縮減を。学校業務を民間委託しないこと。

岡本従組書記長からは、現給保障を維持して抜本的賃金改善を。技能労務職の採用試験を再開して正規職員を増やせ。介助員、調理員を民間委託するな。という要求が説明されました。

交渉団からは、もう「行革」カットは限界に来ている。賃金が上がらないし、休みや割り振りも取れない現実がある。このままでは「兵庫の教育は死んでしまうのではないか」という声さえあがっている。

障教組からは、新設される「姫路しらさぎ特別支援学校」のスクールバスを民間委託しないようにということと、介助員さんの雇用を守ることを確約して欲しいことが要求されました。

播磨農業高校の調理員さんからは、寮の食事を一人で150食つくっています。休めないし土日もあります。職員を増やせないのなら、せめて賃金を回復して欲しいという切実な声が出されました。

### 行革による賃金カットが「いつまでも続くことが良いとは決して思っていません」

次長回答

行革によるカットが、6年目ということで長期にわたっていること、皆さんにご協力をいただいていることについては、申し訳なく思っています。人事委員会の報告を受けたときにも、皆様方の強い要求があったことはお聞きしています。

私どもとしまして、このような状態がいつまでも続くことが良いとは決して思っておりません。皆様方が安心して生活をしていただける

ように、一刻も早く回復できるように努力しなければならないことは十分認識いたしております。今日いただきましたご意見を踏まえながら今後検討していきたいと考えております。

超過勤務について多くなっていることについて、十分認識しております。新プランの実効性があがるように、なお一層工夫していかなければならないと考えています。労使合意が得られるように最大限努力してまいりたい、と回答しました。

### 第2次行革プラン3年目の総点検で「行革」方針の抜本的転換を！

雨松委員長のまとめ

1. 県行革によるカットを終わらせること  
3年間で確実に終了させる。3年間でやれる見直すプラン、具体的な案を示すべきである。
2. 国要請によるカットを確実に終わらせること
3. 超過勤務についても実効ある回答を  
割振り変更の4週間の枠を見直すこと。プランよりも目に見える施策を打ち出すこと。  
大幅な賃金カットが続く中、55歳昇給停止や現給保障については、次回交渉で検討事項からはずすこと。  
県財政が厳しいが、見直すのに失政はなかったのかという点で見直すべきで、北欧4カ国のように社会保障を充実させても、賃金が上がるような別の道をめざす決断をするべきである。行革の転換を強く要望する。

教職員過半数5000筆を超える署名を！  
署名が、県教委を動かす力になります。  
職場から、1筆でも多く署名を送って下さい。  
11月13日の第2回交渉で提出します。  
(お問い合わせは、支部・本部まで)



**全教職員の確定8大要求署名にご協力下さい！**